
環境思想・教育研究

2022年 第15号

◆ 特集 「〈食〉の未来」

「〈食〉の未来」についてどのように考えるか？	河上睦子	1
家畜のアニマルウェルフェアと食の未来 ——新自由主義的展開への懸念——	清水池義治	8
食の闇について	藤原辰史	18
ジェンダーと原発公害 ——再生産労働の「不可能性」と脱原発——	横山道史	23
コロナ禍に問われるこども食堂での食育のあり方	伊藤好一	30

◆ 論壇フロンティア

人新世と歴史観のエコロジー的深化	尾関周二	38
SD概念の本質的理解から産業的食農システムの根本的転換を見通す	池上甲一	53
自然の「第三の価値」 ——内在的価値、超経済的価値、生命的価値、物質代謝的な価値にふれて——	布施 元	64

◆ 追悼・小原秀雄先生

小原秀雄先生の逝去を悼む	尾関周二	72
「〈自然 ^{ナチュラル} さ〉」の視点の教え ——小原秀雄先生を忘れない——	穴見慎一	74

◆ 一般研究論文

3.11直後の青森県政と原発関連施設の工事等再開をめぐるポリティクス ——県民の‘声’の行方——	西舘 崇	75
「ためらい」と「いき」 ——倫理の外側のモラル——	関 陽子	91

◆ 書評

日本農業の来し方と農業の来るべき未来 (中島紀一『「自然と共にある農業」への道を探る——有機農業・自然農法・小農制』)	古沢広祐	100
ポストヒューマンは世俗の神の夢を見るか (吉田健彦『メディアーム：ポストヒューマンのメディア論』)	熊坂元大	105
哲学の再生に向けた果敢な試み (上柿崇英『〈自己完結社会〉の成立』を読む)	吉田健彦	108